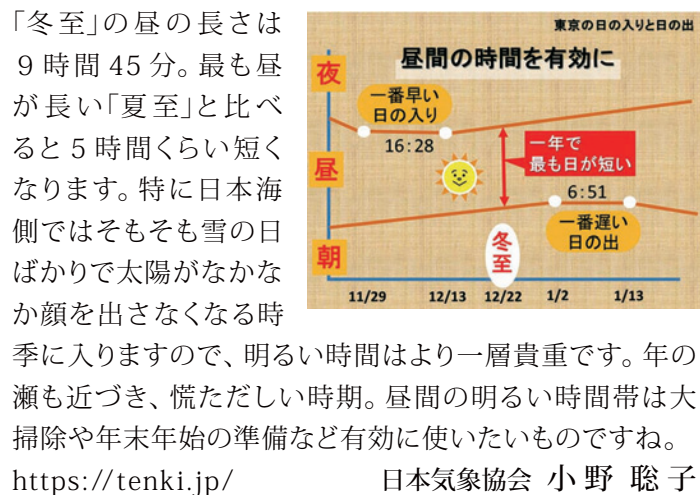


この時季になると、日が暮れるのが早くなっているのを感じます。実際、日の入りの時刻は日ごとに1～2分ずつ早まっています。昼間の時間が最も短くなるのは「冬至」(2019年は12月22日)ですが、実はこの日は日の入りが最も早いわけではありません。東京では、1年のうちで日の入りが最も早いのは11月下旬から12月中旬にかけて、日の出が最も遅いのは、1月上旬から中旬にかけてです。「冬至」は日の入りが早くなるピークと日の出が遅くなるピークの間にあります。地球の公転軌道が円ではなく楕円であることなどを理由にこのようなズレが生じます。



特別顧問	丹羽 晟 (元理事長、日本空港ビルデング顧問)	本保 芳明 (初代観光庁長官)
理事長	大島 慎子 (国立大学法人 筑波技術大学監事)	
副理事長	岡村 進 (元小田急トラベル社長)	
事務局長	杉 行夫 (理事) 事務局次長 堤 るり (理事)	
支部長	魚住 隆彰 (北陸:元北陸鉄道相談役) 長尾 亜夫 (九州:西日本鉄道相談役)	
理事	須田 寛 (東海旅客鉄道相談役) 寺前秀一 (元加賀市長) 分家 静男 (元射水市長) 阿部和義 (経済ジャーナリスト) 山田早苗 (元近畿日本ツーリスト) 利光 國夫 (小田急電鉄特別社友) 近藤 節夫 (日本ペンクラブ前理事) 長尾 亜夫 (西日本鉄道相談役) 北村 嵩 (元JTB取締役) 澤田利彦 (松蔭大学学部長) 今井 智康 (ケーアンドケーロドス(株)代表取締役) 河西 宏和 (日本観光学会最高顧問) 角 廣志 (特定非営利活動法人ふるさとテレビ副理事長) 望月 義人 (筑波学院大学学長) 大西 啓義 (アクティビジネス(株)代表取締役) 高橋 俊朗 (元(株)小田急レストランシステム取締役社長) 辛島 保馬 (元JTB国会担当、佐藤和弘公認会計事務所相談役)	
団体会員	アイエスカンパニー 一般財団法人NHK インターナショナル 株式会社えんれいしゃ 小田急電鉄株式会社 関西電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 社団法人くらしのリサーチセンター 株式会社グリーンキャブ 株式会社耕人舎 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 三普旅行社有限公司 四国旅客鉄道株式会社 新菱冷熱工業株式会社 住友電設株式会社 セントラルリーシングシステム株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社 大成有楽不動産株式会社 株式会社丹青社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタンツ 中国電力株式会社 一般社団法人中央日本総合観光機構 東海旅客鉄道株式会社 東急建設株式会社 東急電鉄株式会社 財団法人東京観光財団 西日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支部 日本空港ビルデング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 羽田旅客サービス株式会社 株式会社パロックジャパンリミテッド 広島電鉄株式会社 福岡空港ビルディング株式会社 北海道空港株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルメトロポリタン マイナミホールディングス株式会社 モバイルクリエイイト株式会社 株式会社まるまんフィオーレ 三菱電機株式会社	

編集後記: 近年、地球温暖化による気候変動で、世界中で異常気象が発生している。今年は特に多く、観光への影響も少なくない。夏の欧州、特にパリでの40度超えの高温、米国カリフォルニアやオーストラリアでの大規模な山火事、ベネチアでは、大潮で85%が浸水し、非常事態宣言が出された▼日本でも、夏から秋にかけて相次ぐ台風と大雨で、千葉県を中心に、関東地方や東北地方で強風や河川の氾濫で大きな被害が出た。史上最大の大雨で登山鉄道が不通となった箱根地区や、度重なる台風に見舞われた房総半島の観光施設や旅館は大きな被害を受けた。おりしも開催中のラグビーワールドカップでも、台風の影響で数試合が中止を余儀なくされている。成田や羽田の空港では交通機関の乱れで、空港施設で一夜を明かす旅客も出た▼JTBの発表によると、台風19号による旅行のキャンセルが合計60億円に上ったという。台風の上陸が3連休初日で、団体旅行が多い季節に重なったことが響いたとみられる。キャンセルの内訳は、国内の法人団体旅行が20億円、個人旅行が20億円、個人の海外旅行が10億円、外国人訪日旅行で10億円である。台風15号など他の被害を合わせると更に被害が広がる▼観光に影響を与えるのは、自然災害だけではない。戦争やテロ、疫病の流行、政治情勢の不安などで観光行動が抑制される場合が多々ある。貴重な観光資源を有するイラン、シリア、アフガニスタンには、日本や多くの国からの観光客の入国が制限されている。日韓関係の悪化で9月の日本発韓国行きツアーは前年同月比で45%、デモの続く香港行きツアーも同30%にとどまっている▼昨年9月に台風で、関西空港が高潮で冠水し、北海道で地震があったので、訪日外国人客の入国数が一時的にマイナスになったが、10月以降は緩やかに回復してきた。しかし、現在の、日韓関係悪化や香港のテロは長期化しており、インパウンドの政府目標達成に暗い影を与えそうである。昨年の訪日外客数のシェアは中国、韓国、台湾、香港の東アジア4か国で約4分の3を占めているが、そのうちの韓国と香港からの入国者数が長期間落ち込むと影響は大きい。ちなみに昨年の韓国からの入国者数は754万人で香港からは220万人であった。この状況が2020年にも続くと、数百万人の入国者数減が想定される▼日韓関係、香港のテロ、そして米中の貿易交渉などは国と国とのプライドと意地の張り合いの様に見える。妥協点を見出す努力を重ね、一刻も早く話し合いで解決してもらいたい▼来年の東京オリンピック、パラリンピックは7月末から9月にかけて開催される。沢山の見物客や観光客が訪れる時期であるが、台風の訪れる時期でもある。今年のラグビーワールドカップの教訓を生かして、観光客の誘導などに万全の対策を立てる準備をしてもらいたいものである。(北村)

特定非営利活動法人「NPO」
JAPAN NOW
 観光情報協会

東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル5S5 〒160-0023
 電話 03(5989)0902 FAX 03(5989)0903 E-mail info@japannow.org HP www.japannow.org/
 発行人: 大島 慎子 編集長: 北村 嵩
 発行部数: 3,000部 主な配布先: 会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど



第128号 発行日 2019年11月29日

CONTENTS

- P1-新刊「新世代の観光立国」PR / 行政の話題
- P2-隠れた「光」を求めて⑦ / COLUMN
- P3-アメリカこぼれ話 64 / 日本の劣化
- P4-観光と鉄道「天童・浜名湖鉄道」/ NEW SPOT⑦
- P5-アンテナショップめぐり:宮崎県
- P6-太平洋島嶼国等の観光政策 / 摩周丸の話題①
- P7-観光立国セミナー報告
- P8-気象と天気の話 / 編集後記

※JNパスワードはP6下部に記載

写真:『凍(しみ)こんにやく』常陸太田市天下野
 常陸太田市天下野で作られる幻の食材「凍こんにやく」。真冬の自然の寒気、夜の寒さで凍らせる。昼間溶けては再び水を掛け夜に凍らせる作業を20日間程繰り返し、乾燥させて完成。湿気を避けると50年以上保存できる。

JAPAN NOW観光情報協会 新刊本 発売

JAPAN NOW 観光情報協会編著
新世代の観光立国
 ～令和世代への課題と展望～ 好評発売中

JAPAN NOW 観光情報協会が8月に発行した本書は、長年観光に携わっている5名の会員が、令和の時代に観光はどうあるべきかをそれぞれの分野からそれぞれの特性を活かし解説、提案をしています。豊富な知識と貴重な経験を通じての内容だけに、読者からは「分かり易い、興味をひく」とのご意見が寄せられています。今後の日本観光への新しい提案と課題が各所に散りばめられています。第一部は「令和の観光立国」JR 東海須田相談役の提言です。観光の国際力強化、観光資源の再開発、魅力再発見等の課題が書かれています。第2部は「日本の観光の現状と課題」JN協会会員の4人が執筆しています。執筆者は、エッセイストの近藤節夫氏、元JTBの北村嵩氏、元JNTOの澤田利彦氏、元小田急電鉄の杉行夫氏です。令和時代の観光を考えるツールとして是非ご利用下さい。

交通新聞社発行
 1,500円(税別)
 全国各書店、AMAZONでお買い求め下さい。

10月の訪日外国人観光客は249万7千人 前年同月比5.5%減少

本年1～10月累計では2691万4千人で前年同期比3.1%増

11月20日JNTO(日本政府観光局)発表の推定値によると、2019年10月の訪日外客数の推定値は、前年同月比5.5%減の249万7千人で、昨年10月の264万1千人を約14万人下回った。前年同月比がマイナスになったのは8月以来2か月ぶりである。日韓関係悪化の影響で韓国からの訪日外客数が減少し始めたのは6月以降で、6月+0.9% 7月-7.6% 8月-48% 9月-58.1%と減り幅が大きくなり、本月にはついに前年同月比がマイナス65.5%訪日客数19万7千人となり、前年から37万4千人の減少となった。昨年9月は、台風21号による関西空港の被災や北海道胆振東部地震などの影響で5年8か月ぶりに前年割れ、前年同月比は5.3%減で2017年より12万人減少したが、その内韓国からの訪日客は7万7千人(13.9%)を占めていた。今年の9月は、その減少した昨年の半分以上となり、今月は更に減少幅が大きくなった。今後、日韓間で関係改善が進められないと、減少に歯止めがかからない状況になり、政府目標の2020年4000万人の訪日外客数達成は難しくなる。一方、ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催により、出場国からの訪日外客数は41万7千人となり、前年同月に比べ8万1千人増え、24.3%増となった。大会開始の9月と10月の合計では、開催国から76万4千人が訪れ、29.4%の伸びであった。ラグビーの試合は激しい肉体のぶつかり合いで怪我など肉体の消耗が激しい為、試合の間隔が1週間程度と長く、熱心なファンは次の試合まで観光などを楽しむ人が多く、平均的な観光客より旅行消費額が多いと言われているので、旅行消費額の伸びが期待される。又、10月は東南アジア全市場で、前年同月比が2桁の伸びを記録し、堅調に推移している。テロの影響が懸念されていた香港からの訪日客数も6.6%増となり、9%増の台湾、2.1%増の中国の東アジア3か国は順調に推移している。1～10月累計では前年同期比3.1%増の2,691万4千人となり、昨年の同じ期間の伸び率9.7%を大きく下回った。ちなみに2017年の同期間の伸び率18.3%であった。このまま、昨年の入国者数の24%を占めていた韓国からの入国者数の低迷が続くと、2019年度の入国者数は、昨年度の入国者数3,119万人には届かないと思われる。

隠れた「光を求めて」⑦ 「地名」をみる

JN協会理事・東海旅客鉄道株式会社 相談役 須田 寛

このほど JAPAN NOW 観光情報協会から「新世代の観光立国―令和世代の課題と展望」と題する書籍が上梓された。

このなかで JN 協会の杉理事が全国郵便番号簿の市町村別のページ数に着目した「地名」にかかわる論文を発表されている。

杉理事は郵便番号簿で京都市の占めるページ数が異常に多いのに注目する。番号簿は全体で約 350 頁、うち東京都(23 区)約 4 頁、大阪市約 3 頁なのに京都市はなんと 18 頁も占める。人口比で京都市は大阪市の半分強(140 万人)。

京都市民が如何に自分たちの住む地(町)名を大切に守ってきたか、地(町)名に対する市民の愛着度が大きい。そして他の多くの町のように地名を安易に改名統合することをせず、京都が首都であった明治初年までの伝統的地(町)名を守ってきたことのあらわれではないかと指摘される。筆者は京都の出身なのでこの論文をみてあらためて「地名」を考えさせられた。即ちはじめて地名を定量的にみること

を教えられたからである。近年この「地名」が観光資源として注目されはじめた。上述の京都では中京区の都心部は「祇園まつり、の山鉾を保存する小単位(1 区画程度)のいわゆる「鉾町、が伝統的地名を今も守る。地名にひかれてそこを訪れる観光客も増加(まつり時にはツアーも)してきた。「菊水鉾町、など山鉾の名を付した長い町名(※)が注目されたからである。

※(例)中京区室町通四条上ル菊水鉾町 など
まつりの期間(約半月)鉾町の商家には秘蔵の屏風を店頭や玄関先に飾る慣習が今も残る。(祇園まつりは「屏風まつり、ともいわれる)そのまちを巡る観光が外国人も含めて急増してきたのだ。まさに「(町)名からみる観光、といえよう。

一方全国には同名の都市がいくつか存在するが、高田市もそのひとつである。陸前高田市(宮城)、大和高田市(奈良)、安芸高田市(広島)、合併で新潟県上越市高田地区となった元祖ともいべき元高田(市)の四市である。このような同名市を順に訪れる人も多いと聞く。

さらに旅情をさそう地名(近年の創作もあるが)にひかれてその地を訪れる観光客も目立つ。

「ひたちなか、市は合併(勝田、那珂湊両市)でひらかな市名となったのを機に、観光開発に努めたところ、この珍しいひらかなのまちは全国区の観光都市に成長した。

地名はそのまちなみであるだけでなくそのまちなみだけでなく、環境、景観、歴史などを象徴するものが多い。近年は地(町)名そのものが観光客を誘致する大きい動機となってきてい

えよう。合併市の旧頭文字を並べただけの地名、町の理想を表現したスローガンのような市名も出てきた。しかし安易に新しい地(町)名を考えず、まちなみの魅力と伝統がこもった地(町)名を大切に、それを味わう近年盛んになってきた歴史文化(学習)観光の資源として活用していくのも新しい観光ではなかろうか。

まさに「たかが「地名」でなくされど「地名」になったのだと思う。

前の事前研修の場で訪問先の小学校では、努めてスマイルを心掛けましょうと先生同士が誓い合った。訪れた学校正門前で「Let's go to smile！」と気合を入れてから校門を潜った。授業参観中も出来るだけスマイルを表すよう努め、生徒たちに、また懇談会では先生方に対して微笑みかけた。それが効を奏して訪問先の教育関係者から温かく好意的に受け入れられ、「the warm-hearted Japanese school teachers」(心の温かい日本の先生たち)と現地新聞紙上に紹介された。帰国後いただいた手紙でもスマイルがアメリカの先生に好印象を与えたことが分かった。その後この視察団は「スマイル会」と名づけ、集まる時にはいつも揃ってニコニコしていた。

いま化学者吉野博士のこぼれるような笑顔を見て、あのアメリカの小学校のスマイルを思い出してはひとり頷いている。相手をおもいやるスマイルがやや消えつつある昨今、スマイルは何処でも誰に対しても愛情と親しみで相手を包み込む、嘘偽りのない「おもいやり」のシグナルだと思う。

エッセイスト 近藤 節夫

第156回 観光立国セミナー「テレビが報道しない世界の真実」

世界の人形館 主催者、275 カ国・地域を訪れたワールド・トラベラー 高 康治氏

高さんは三井物産出身で丁度 1 年前の 10 月に当セミナーで講演され、現在 82 歳である。前回の講演で紹介された、酷寒のモスクワへの出張から始まったワールドトラベルや商社時代の駐在などに加え、本年 6 月にモロッコ内にあるスペイン領の飛び地領セウタとメリリヤ、地中海に浮かぶイビサ島、本土のマラガを旅行し、踏破した国・地域は 275 となった。帰国後朝日新聞の取材があり、長時間の面接、電話やメールによる頻繁な補充取材にも関わらず掲載記事には話の一部しか掲載されておらず不満足なものであった。今回は、新聞・テレビが報道しない、余り国民に知られていない「世界の真実」に絞って話したい。

現在国際的に認められている国は 196 ヶ国であるが、日本は北朝鮮を承認していないため日本のメディアは 195 ヶ国と報道している。北朝鮮は国連加盟国であり、世界の 162 ヶ国が北朝鮮を承認し、外交関係を持っている。日本が北朝鮮を一人前の国と認めない限り、拉致問題の解決は難しいであろう。

北方領土問題については、安倍首相とプーチン大統領との間で 27 回も首脳会議が行われたが交渉は全く進展していない。これは年月を経るうちにロシア化が進み、実効支配されて、領土返還が難しくなっているからだ。実効支配による既成事実化は世界に多数存在する。フォークランド諸島はアルゼンチンに代わり英国が実効支配している。インド

第157回 観光立国セミナー「観光のあゆみ」人類の誕生から今日の観光ブームまで

日本ペンクラブ前理事・当協会理事 近藤 節夫氏

近藤さんは当協会発行の「新世代の観光立国」を執筆され、その内容を中心に話をされた。主に「旅」が生まれた経緯と日本人の「旅」と観光についてである。ホモ・サピエンスは 70～170 万年前にアフリカ大陸で生まれた。2 足歩行が出来、頭で考える人類の誕生である。5-10 万年前にメソポタミアなど中東に移動し欧州、アジアなどに広がっていったと考えられる。日本に到達したのはおよそ 3～4 万年前で、北方ルート、半島ルート、南方ルートの三方からやって来たと言われる。

旅の類型の一つは、定住地から見知らぬ土地への侵略戦争であった。古代エジプト軍がシリアでヒッタイトと戦った「カディッシュの戦い」が歴史上最初の軍事記録である。その後、紀元前 4 世紀には、マケドニアのアレキサンドロス大王のペルシャ戦争と東征があり、4 世紀から 8 世紀にかけてはゲルマン民族大移動が起こった。13 世紀から始まったチンギス・ハンの大遠征とモンゴル帝国は、同時代に大旅行を行ったマルコ・ポーロの東方見聞録によって、西洋にアジアへの関心を呼び起こし、15 世紀からの大航海時代へ繋がったのである。

日本における旅は、ヨーロッパや中国の様に、侵略戦争によって旅を発展させた狩猟民族的な行動と異なり、勤勉な農国民族として定住し、庶民が遠くへ移動することが少なかった。中世になってようやく旅についての記録が残されるようになり、紀貫之の「土佐日記」や阿仏尼の「十六夜日記」など個人的な見聞録が中心であった。江戸時代に入ると、徳川幕府の政策で参勤交代が実施され、街道や宿場町が整備され、松尾芭

蕉が実効支配しているカシミール地方もパキスタンや中国が領有権を主張している。島根県の竹島は日本の主張にも関わらず韓国が実効支配をしているが、逆に、中国や台湾が領有権を主張する尖閣諸島は日本が実効支配していると国際社会では受け止められている。

国でない地域の捉え方も現在の政治情勢に影響を受けている。南極や北極は概ね地域としてみとめられているが、香港などは従来、一地域としてみとめられていたが、返還後はメディアが中国の一部として、一地域として認めない場合が多い。トランプ大統領が買収の打診をしたと言われるグリーンランドはデンマークの領土だが、自治権も認められており、地政学的には国とは別に地域として認めるべきだと考える。

世界には「飛び地」が多数存在する。或る国の内に別の国の領土があるのである。今年訪れたスペイン領セウタとメリリヤはモロッコ北部に位置し、モロッコが領有権を主張しているが、15 世紀末にイスラム勢力を追ったスペイン王国がアフリカ大陸に上陸した時から軍事戦略上重要であるとして同国領のまま続いている。対岸のスペイン領内にあるジブラルタルは地中海の入口にある軍事上重要な拠点であるが 18 世紀初頭にコトレヒト条約によって英国領となった。世界最大の飛び地はアラスカである。ロシアがクリミア戦争で敗北した時に財政困難に陥りアメリカに売却したのである。

最後に、TV や雑誌の海外情報で鵜呑みにせず、自らの目で見、体験することをお薦めする。私は 82 歳であるが「其処に世界があるから」今後も旅を続けたい。

蕉の「奥の細道」など各地を巡る紀行文が残された。庶民が本格的に旅を楽しむようになったのは江戸時代の「お伊勢参り」からであった。信仰と娯楽を兼ねた現代の旅行に近い形態が生まれた。

日本人の団体旅行の始まりは、明治時代の学校での遠足や修学旅行などの学校教育としての旅からである。明治 14 年(1882 年)に栃木 1 中が実施した東京上野での内国勸業博覧会見学が最初の例だとされている。明治 19 年(1886 年)には学校令が制定され、東京師範学校生が千葉方面に 11 日間の遠足を行ったことが記録に残されている。

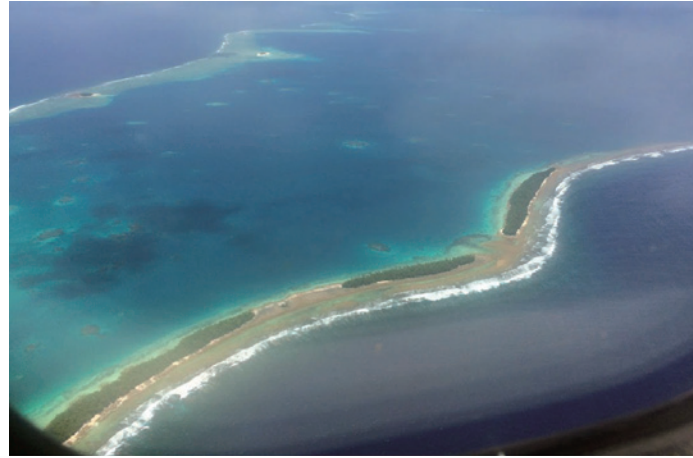
1964 年の東京オリンピックや 1970 年の大阪万博などの国際的イベントがきっかけで、個人や家族、友人単位で旅行するようになり、その後も沖縄海洋博、つくば万博、花の万博、愛・地球博覧会が開催され多くの人が見学に訪れた。1964 年には日本人の海外旅行も自由化され、初期にはハワイ、グアム、香港、台湾などが人気の旅先であったが、今では海外旅行先も飽和状態なのか、インバウンド客の方が脚光を浴びている。

最後に近藤さんは、ベトナム、ミャンマー、パキスタン・カイバル峠、イエメンなどでの、臨場感溢れる現地での数々の体験の話を、スライドで紹介しながら披露された。

第158回観光立国セミナー開催のお知らせ

第 158 回観光立国セミナーを 12 月 13 日(金) 12:00 より 海事センタービル 2 階会議室にて開催。要事前予約。
講師：北村 嵩氏 (JN 協会理事・元 JTB ワールド社長)
演題：「JN 協会発行「新世代の観光立国」を執筆して、その後のインバウンドの状況」
参加費：会員/1,000 円 一般/2,000 円 ※昼食(弁当)付き

観光学博士 寺前 秀一



ツバルの環礁

ラグビーのワールドカップを偶然サモアでむかえた。現地は日本時間より五時間早く、開始時間は深夜。皆寝てしまっている。おまけに翌朝は日曜日だから皆教会。私の周りではどこにもラグビーの余韻などなかった。

今回の旅行は太平洋島嶼地域をアイランドホッピングしていた。トンガやツバルなどは名前が知られているが、ポンペイ、ウベアのように知られていない島も多い。その点サモアは、知名度は抜群。サマセットモームやステューブソンなど著名作家が話題を提供したからだ。しかし、島の規模は淡路や佐渡とあまり変わらない。従ってサモアのラグビーチームがいかに国際宣伝に寄与したかという評価をした方が良い。チーム淡路がイングランド相手に国際試合をすれば、淡路の国際的知名度は一気に上昇するはずだ。

ツバルも海面上昇による水没危機で有名になった。これらの島は、広く他の太平洋諸島等と交流はあったものの、自給自足的な社会であった。しかし現代は、車を筆頭に、テレビ、スマホ、ビール、コーラ、リングにサッカーボールと、島では生産できない物資であふれている。とって価格は先進地域と変わりはない。生活廃棄物が発生し、毎朝ごみ収集車が回っている。こんな地域で政策として観光を推進すべきか考えさせられる。既に住民用で、物流や廃棄物処理はキャパシティギリギリに近い状態にある。金を稼ぐためとはいえ、よそ者のために割く余裕などない。オーバーツーリズムなどと言わなくても、当たり前なのである。だからか、ツバルでは全く観光宣伝ポスターは見かけなかった。島を離れる人の首にかけてあげるお別れの首飾りが、唯一空港前で売られていた観光土産品だった。日本の有名観光地も、ツバルのように周りが海に囲まれていないだけで、物流や生活廃棄物処理などを通して、地域にはキャパシティの限界があることを知り始めている。



青森函館間には本州と北海道を結ぶ「青函鉄道連絡船」が明治41年から運行され、青函トンネル開通に伴って終航する昭和63年まで80年余にわたって運航されていた。

今函館港にはこの終航時まで運航していた摩周丸(8300総トン、旅客定員1,200人、搭載貨車48両の輸送力をもつ)が保存船として繋留されている。

船内は産業博物館として公開(所有者の函館市から「NPO法人語りつぐ青函連絡船の会」が受諾運営にあたる)されている。

往時の写真関係資料の展示のほか客室、サロン等の公開(イベントとして船橋での出航作業の実演、サロンで講演会等が開かれることも多い)はかつてこの連絡船を利用して、船で北海道をたびたび往復した人々にとって思い出が多らしく、年配の人々の来訪者が目立つ。

摩周丸は産業博物館としての役割のほか、函館港に残る数少ない青函連絡船の産業遺産の展示物としての役割もあり、夜間はライトアップされて、函館山からの日本三大夜景とされる函館市の夜景の重要な点景としての役割も果たしている。

又毎日正午に吹鳴される階和音独特の汽笛は市民にも親しまれるなど函館市のモニュメントとして、又重要な観光資源としての存在感を示している。

ところでこの保存船摩周丸が今春から新しく試みをはじめ話題を呼んでいる。(その続きは次号1月号で紹介します)



モリス信号の体験もできる「無線通信室」



函館朝市から見える距離にある青函連絡船記念館「摩周丸」



岸壁と船の間に貨車を積み込むための橋(可動橋)と船尾扉



函館山を一望できる「コンパス甲板」



実際に摩周丸に取り付けられていたスクリュプロペラ

写真提供: 函館市青函連絡船記念館摩周丸

JNパスワード	ユーザー名	パスワード
JN協会 Web サイト、トップページ右上の会員ページボタンよりログイン画面に進み、ユーザー名・パスワードを入れてログインして下さい。		

元 JTB 取締役 北村 嵩

初期のヴァージニア植民地で白人入植者を助け、その入植者の一人ジョン・ロルフと結婚し、タバコの栽培方法を伝えたと言われる「ポカホンタス」。第3代ジェファソン大統領から派遣されたルイス＝クラーク探検隊(新しくフランスから購入したルイジアナを探検する)を、赤ん坊連れで道案内をした「サカガウィア」。独立戦争時にインディアン諸部族「マイアミ連合」を率いて合衆国政府軍と戦った若きショーニー族の酋長「テクムセ」。カスター将軍率いる第7騎兵隊をリトルビッグホーンの戦いで全滅させたオグララ・スー族の「クレイジーホース」。加えて呪術師「シッティング・ブル」などよく知られたアメリカインディアン(正式にはネイティブ・アメリカン)は多いが、アメリカ人に最も有名なインディアンは「ジェロニモ」であろう。



Geronimo (ジェロニモ)

ジョン・フォード監督の名作映画「駅馬車」はジェロニモが襲ってくるの噂から始まる。ジェロニモの出身部族の「アパッチ」が最後まで合衆国に抵抗したインディアン民族であり、しばしば襲撃や奪略の現場でジェロニモの姿が見られた。そのため東部の白人社会に大げさに伝えられ、数百人を殺害したと恐れられていたのだ。

「アパッチ族」はアリゾナやニューメキシコ、メキシコのチワワ州などで生活をしている。ジェロニモも17歳で結婚し妻と3人の子供を養った。生活手段は夜陰に乗じて牛や馬をさらうことであり、この奪略は部族の生業であった。1858年、奪略に手を焼いていたメキシコは、毛布、トウモロコシの粉などを支給すると和平協定を申し出た。ジェロニモはこの物資を引き取りに行く一隊として派遣され、運搬手伝いとして妻、幼い子供たちや老婆など家族全員が加わった。メキシコ側ではソノラの軍政長官カラスコ将軍がこれを好機にアパッチの皆殺しを図った。ジェロニモは用心して郊外に野営して助かったが、家族全員を殺された。この後、温厚だった性格が怒りっぽく変わり、終生メキシコ人への復讐を誓う獰猛な戦士に変貌した。賛同を得た仲間とメキシコの町への襲撃を開始し、メキシコ兵を殺しその頭の皮を剥いだ。彼は常に先頭に立ち、銃弾の雨をものともせずナイフを片手に暴れ狂ったように戦い、その様子を見て畏敬の念に駆られたメキシコ人が「守護聖人ヘロニモ(英語読みジェロニモ)」と叫び、それ以降ジェロニモと呼ばれるようになった。その後もメキシコや合衆国で襲撃や奪略を繰り返しては山岳地帯に逃げ込みゲリラ活動を続けて、変幻自在に白人の掃討戦をかわし抵抗した。しかし、1886年ついに合衆国に投降した。

投降後は米軍の捕虜として半ば見世物のような扱いを受け、大統領に面会させられたり、万国博覧会の会場でインディアンの服装で観客と写真を取らせられたりして過ごした。生まれ故郷のメキシコ国境へ帰りたいという願いは叶えられず、オクラホマのシル砦でその生涯を閉じた。尚、本名はゴヤスレイといいアパッチ語であくびをする人という意味である。

小田急電鉄株式会社 特別社友 利光 國夫

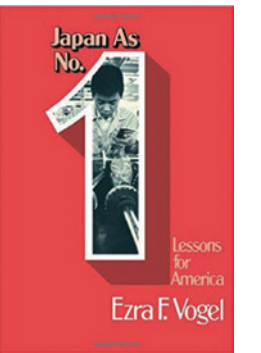
最近目にしたある資料によると、近頃の若年世代にとって最大の関心事は「老後の生活」だそう。私の若かった頃自分の「老後」について心配している者など、全くゼロではないかもしれないが、先ずはそれに近かったと言えるだろう。昭和30年代に学生時代を過ごして就職し、高度経済成長期に社会人生活の大半を送った私たちは政治経済などの面で国の将来を案じて激論を交わすことはあっても、中年以降までは自分の「老後の生活」について大きな関心を寄せるといえるだろう。



考えてみるとバブル崩壊後の我が国は、今日まで長く続くデフレ経済の下で実質賃金は上らず、経済成長率は先進国中最下位に近く、近年は相次ぐ激甚災害で国土は毀損し国民の財産の多くが失われている。一方で国外に目を向ければ、近隣諸国は国際法を無視する反日侮日政策をとること頻繁だが、政府はこれに対して然るべき対応をしているとは到底思えない。本来ならば政府の尻を叩いて国益を守るべきである筈の国会では、相も変わらず閣僚のスキャンダル追及に血道をあげるばかりで、安全保障政策や経済活性化などに関する議論はそっこのけである。

先頃問題となった「老後資金二千万円」報告書についても真剣に取り組むどころか、財務大臣が受け取りを拒否するという有り様では若年層が老後にたいして不安を抱くのも無理はないだろう。

古今東西如何なる国家民族も栄枯盛衰の歴史を繰り返して今日に至っていることを思えば、我が国の現状がどうであろうと特に心配することは無いというべきかもしれない。そうは言っても、つい数十年前に「Japan as number one」と言われた国の若者たちの最大関心事が老後の生活というのは尋常ではない。思想や立場の違いに拘わらず、いつの時代にあっても若者は「変革者」であり、理想を求めて進んで行くのが常である。時に間違っただ道をたどることがあったとしても、若者が「坂の上の雲」を目指して進んでいる限りはその国家民族に未来は開けるだろう。然しながら若くして老後の生活を第一に考える者が大半を占める国というのは、歴史上聞いたことがない。日本という国はそこまで劣化してしまったのだろうか。



「Japan As No.1」社会学者エズラ・ヴォーゲルによる1979年の著書。日本では70万部を超えるベストセラーとなり、一世を風靡した。

観光と鉄道 (15) 天竜浜名湖 鉄道株式会社

天竜浜名湖鉄道株式会社 総務課 片山 知恵実
HP <https://www.tenhamaco.jp/>

天竜浜名湖線、通称、天浜線は静岡県西部地域にあって、浜名湖を北に迂回しながら、掛川から新所原までの全39駅、全長67.7kmを約2時間で結んでいます。開通から80年が過ぎようとしている今もなお、前身の国鉄二俣線の面影を強く残しており、計36施設が国の登録有形文化財となっています。



天浜線 - 浜名湖

東京から約1時間40分、掛川駅で新幹線から乗り換えた、1両の気動車は出発後すぐJRから離れ、桜木駅を過ぎれば、田園地帯が広がります。新東名をくぐり、太田川を越えると数少ない有人駅の遠州森駅です。昭和10年に建設された駅舎とプラットホームは、国の登録有形文化財になっています。西へと進む列車は、光明電気鉄道から引き継いだ2つのトンネルを抜け、まもなく天竜二俣駅に到着します。

車両基地のある天竜二俣駅には転車台をはじめとする10の国の登録有形文化財があり、そのすべてをガイドの案内と共に見学いただける「転車台&鉄道歴史館見学ツアー」を毎日

開催しています。蒸気機関車が走っていた頃の歴史と、今も稼働し続けている当時の施設を身近に感じることができます。

天竜二俣駅を出発した列車は天竜川を渡り、トンネルや木々の間を抜け、大河ドラマ「おんな城主直虎」で脚光を浴びた数多くのゆかりの地を過ぎ、西気賀駅を出ると、浜名湖が見えてきます。ここからしばらくの間、天浜線は浜名湖に沿って進みます。冬の季節、ユリカモメが舞う浜名湖佐久米駅を過ぎると、三ヶ日みかんのオレンジと葉っぱの緑、浜名湖の青の間をのんびりと列車は進みます。

天浜線の魅力は、決して観光に特化していないことにあります。お客様の約半数が通勤・通学の足としてご利用いただいています。それだけ人々の生活に密接に関わりながらも、観光地としてのポテンシャルを秘めていることで、観光でお越しいただいたお客様には整えられたものではなく、より自然で現実的な美しさを見ていただけたと思います。また日々ご利用いただいているお客様にも、観光とのかかわりの中で地元の新たな魅力を発見できます。

ぜひ一度、鉄道を軸として地域の人々の力で存続し、造られた風景を、登録文化財とともにご覧ください。



天浜線 - 転車台



天浜線 - 里山

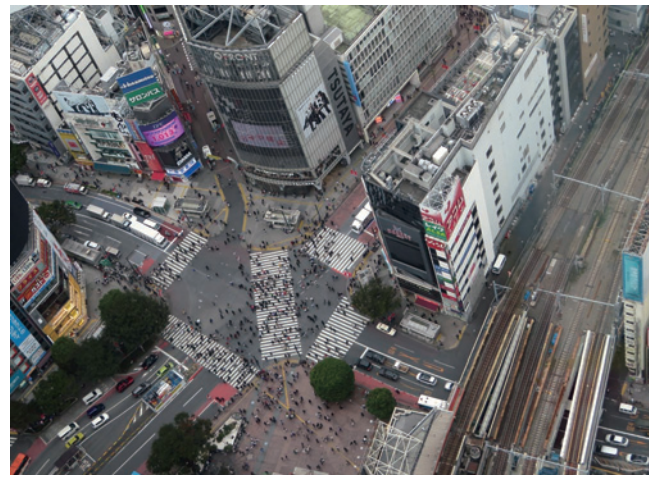
NEW SPOT in Japan 77

渋谷スクランブル

再開発進む東京・渋谷のJR駅と東横線旧駅の真上にそびえ立つ地上47階、高さ230mの超高層ビル「渋谷スクランブルスクエア」東棟が2019年11月1日に開業した。訪日観光客にShibuya Crossingで知られるスクランブル交差点を眼下に臨み、屋上は360度の見晴らしで富士山、スカイツリーなどを展望する壮大な眺めだ。地下2階から地上14階まで210余のショップ&レストランが入り、上層階はIT企業などのオフィスが入居済み。東棟に次ぎ8年後に中層10階ほどの中央棟と西棟が完成し渋谷駅大改造は完結する。

この3棟がまたぐ駅舎も大きく変わる。これまで乗り換えが複雑で分かりにくいと不評だが、駅南側に約350m離れたJR埼京線ホームを20年春に山手線ホームと並ぶ位置へ移し、次いで山手線も内回りと外回りのホームを1つにまとめる。地上3階を走る珍しい地下鉄の東京メトロ・銀座線はこの新年早々に現ホームより130m東へ明治通り上空に移る。JRと交差する国道246号の幅を広げ、東西をつなぐ自由通路を整備する。日本初の食品名店街「東横のれん街」で親まれた駅直結の東急百貨店東横店は再開発に伴い3月末に閉店し85年余の歴史に幕を閉じる。

渋谷駅周辺開発は7年前、プラネタリウム円形ドームがシン



渋谷スクランブルスクエア4階からスクランブル交差点を見下ろす

ボルだった元東急文化会館の渋谷ヒカリエ開業で始まり、渋谷川に沿う東横線跡のストリームとブリッジ、南口駅前に衣替えした東急プラザが入るフクラス、明治通りのキャスト、道玄坂上のソラスタがすでに開業、今後2つの再開発を加え9つのカタカナ造語プロジェクトが進む。渋谷PARCOも今年11月に新装なった。いずれも厳選されたブランド・有名店や時流の店舗など世界に誇る商業施設だが、似たような高級店がずらり並ぶようにも見える。高層ビルの中にも女将が仕切る、古き良き赤提灯や縄のれんの賑わい横丁が復活すれば、さらに楽しい。

文・写真 林 莊祐

観光の縮図 「新宿みやざき館KONNE」 アンテナショップめぐり⑨ 宮崎県アンテナショップ



宮崎県のアンテナショップ「新宿みやざき館 KONNE」は新宿駅南口のサザンテラスにある。新宿地区は、アンテナショップの激戦地である銀座と異なり、埼玉県がナチュラルローソンに、沖縄県が京王百貨店内に出店しているが、本格的な独立店舗のアンテナショップは宮崎県のこの店のみである。

設立は平成10年で、2018年には設立20周年を迎え大幅にリニューアルし、2階に宮崎の食材をたっぷり使ったレストラン「くわんね」が開業された。「くわんね」とは「どうぞ、どうぞ食べてください」という意味の宮崎の温かい方言である。ちなみに店名の「KONNE」は「おこしください」という宮崎の方言である。

店舗は1階で、入口近くには、世界的に著名なパティシエである江森宏之氏の監修による日向夏やマンゴー等の宮崎県産のフルーツを使用したソフトクリームやスムージーを販売するテイクアウトコーナーがある。その横にはイベントスペースがあり、県内の自治体や企業のPRや商品の販売が行われており、取材の当日にはローストチキンのPR販売が行われていた。その奥には産地直送の、宮崎のマンゴーや日向夏(季節限定)などの果物や、宮崎牛や地鶏の肉を使った加工品や名産品が販売されており、宮崎名物の鶏の炭火焼きが人気を集めている。チーズ饅頭などの菓子類も良く売れているという。切干大根や大根の漬物、芋、麦、米、ソバなどを使用した焼酎、ワイン、ビールなどの酒類の品揃えも多い。

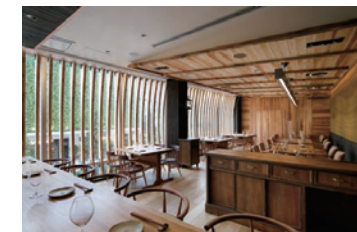
一階の一角には常設の観光案内コーナーがあり、県内観光地のパンフレットやイベント案内のチラシが並べられている。宮崎県の観光の大きな特徴は、「スポーツランド」を打ち出していることである。日本や韓国のプロ野球球団のキャンプ地として有名であるが、ラグビー日本代表の合宿や、サッカー、トライアスロン、サーフィン、ゴルフなど様々なスポーツのキャンプやトレーニングの地でもあり、ファンから、スケジュールやキャンプ地に関する多くの問い合わせがあるという。又、今年は令和に改元されたこともあり、神話や天皇陛下や天皇家に対する関心が高まり、県内の高千穂、霧島、青島、西都原古墳群な

どを尋ねる人が増えているという。

このアンテナショップは公益社団法人宮崎県物産貿易振興センターが運営しており、説明や案内して頂いた東京事務所、副所長兼企画・販売開拓課課長、布施慶太郎さんや店長の縣志さんによると、周囲に多くのホテルがあり、バスターミナル「バスタ」、成田エクスプレスの乗降客の多いJR新宿駅南口に近いため、外国人観光客が多く、このショップでテイクアウトのソフトクリームやスムージーを楽しんだり、レストランで昼食するインバウンド客も少なくないという。



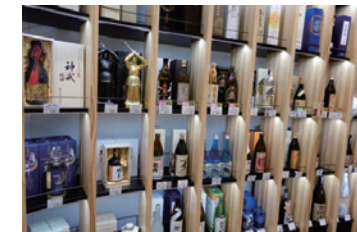
KONNE 1F



2Fくわんね



PR販売



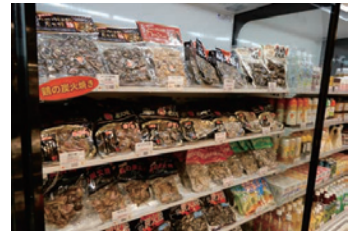
焼酎



マンゴー菓子



観光コーナー



鶏の炭焼き



住所：東京都渋谷区代々木2丁目2-1 新宿サザンテラス内
営業時間：10:00~20:00(1月1日~1月3日を除く年中無休)

案内地図：Google map